



発 行 群馬県生協連女性協議会 群馬県前橋市大手町3-19-3

| Marie | Ma

女性協視察研修会を開催しました

9月29日(主)

--富岡製糸場の見学と城下町小幡を散策しました--

県連女性協議会では9月29日(土)、「女性協視察研修会」を開催し、富岡製糸場を見学し、 城下町小幡を散策しました。参加者は7生協と県連から39名(うち、ご夫婦6組)でした。

今回は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に推薦されたことにちなみ、地元に目を向けた視察研修会を企画しました。

富岡製糸場は明治政府が近代化のため日本で最初に建設した官営器械製糸工場で、近代産業のシンボルとして130余年の間、輝き満ちて歩んできた歴史的文化遺産です。

同時に注目したいことは、全国各地から入場した 工女の役割りと生活です。フランス人が指導したた めヨーロッパ方式の勤務時間や勤務条件が取り入れら



富岡製糸場前で

れ、日曜日を休日とし、1日の実働が」7時間45分、工女の給料は能率給だったと聞きました。



楽山園・腰掛け茶屋

彼女たちは技術習得後、それぞれの地元で指導者として活躍し、和田英をはじめとする工女の活躍が、全国の絹産業、 日本の近代化に大きく貢献しました。

午後は甘楽町歴史民俗資料館を見学し、織田信長の次男・信雄が築いた大名庭園「楽山園」や武家屋敷などが残る小幡町を散策しました。歴史民俗資料館は、群馬の養蚕を支え協同組合のさきがけといわれた群馬3社の一つ「甘楽社」の小幡組倉庫を町の資料館として残したものです。次に、参加者の感想をご紹介します。

編集委員 秋山ユミ子(生活クラブ生協)

9 99



女性協視察研修会に参加させて頂いて

小川浩子さん (コープぐんま)

私は8月に関西から引っ越してきたばかりで、この研修会をとても楽しみにしていました。主人と参加させて頂いたのですが、夫婦で参加の方がたくさんおられて、フランクな生協さんだなと思いました。

団体行動ということもあって、ガイドさんがついて 説明してくださり、かいこの一生から糸ができる迄、 地名の由来から、教科書では習わない歴史の裏話まで



で有意義に研修できましたガイドさんにお話を聞いたこと

色々と教えて頂いてとても勉強になりました。

個人で行くとここまで勉強できなかったと思うと、とても有意義な研修でした。最後にこんに



味しくて、こんなにこんにゃくを食べたのは初めてでした(笑) 見学地の選定からスケジュールまで、素人とは思えぬ計画で、

ゃく博物館のこんにゃく食べ放題というお楽しみもあって、美

役員の皆様には頭が下がります。とても楽しい有意義な研修会 を有り難うございました。この研修会に参加して、ますます群

馬が好きになりました。有り難うございました。

蒟蒻バイキング (無料)

楽しく、満足の「研修」でした

山田幸弘さん(はるな生協)

「団体ツアー」などは苦手な私ですが、今回は、「団体」のメリットを味わせてもらいました。 団体には「ガイド」さんがつくのです。

「富岡製糸工場 | 見学で私達に説明して下さったボランティ アガイドさんも、甘楽町歴史民俗資料館の館長さんも、その情 報量には感心させられ、十分楽しませて頂きました。工場建設 にあたり、レンガを焼いた職人さん達が、秘かにレンガに押し た刻印の話。当時の女工さんの労働条件(7時間45分の労働時 間、日曜が休みで毎日入浴できたという先進性と、現在にも通 じる 4 段階の能力給、フランス人技師の月給 600 円 $+ \alpha$ に対し 1円前後と言う格差)。そしておかいこは家畜と考えて1匹二



4.4

甘楽町歴史民俗資料館では館長さんの説 明をお聞きしました

匹ではなく、一頭二頭と数えたこと。忘れずにおきたい話に満足した「研修」でした。お世話様 でした。



感 想

角田すみ江さん(北毛保健生協)

「日本で最初の富岡製糸」と上毛カルタにあるように、改めて「官営」であることを認識し直 しました。一等工女から四等工女まで選別され競争させられて、富国強兵政策の一翼を担って現 在の日本があるのかなと思うと複雑な気持ちです。富岡市に建設された理由がこの地域は養蚕が



円空の鉈彫り、遠くから研究家が訪れる そうです

盛んで広い土地があり、住民が外国人を受け入れたこと、水の 確保、燃料の石炭が確保できたことが工場建設に適していた条 件だと説明を受け、科学的な判断と感心しました。昨年の東日 本大震災のときの被害はガラスが数枚割れた程度であり、建物 は頑強な構造になっているそうです。

城下町小幡の歴史資料館は円空の仏像三体や、小幡氏、織田 信雄、武田勝頼の古文書等が展示されていて難しそうな歴史も

館長の絶妙な解説に聴き 惚れました。楽山園の「腰

掛け茶屋」から赤城山、榛名山 を眺めていたら心地よい風が 疲れを癒してくれました。楽山園のとなりにある「長岡今朝吉 記念ギャラリー」で食べたあんみつがとても美味しかったこと をつけ加えましょう。

桜の咲く頃に城下町小幡を散策したいと思いました。



楽山園

第19回女性協定期総会を開催

6月19日(火)

共同参画がいっそう進むよう取り組んでいくことを確認

第 19 回女性協定期総会を 6 月 19 日(火)、群馬県生涯学習センター多目的ホールで開催しました。議長に群馬中央医療生協の代議員の中村佳子さんを選出、総会議事に入りました。

はじめに、中嶋源治県連会長と、林かの子女性協会長より主催者を代表しての挨拶を申し上げたあと、来賓としてご出席いただいた、貝原日出夫様(群馬県生活文化部消費生活課長)、笛田淑子様(群馬県ぐんま男女共同参画センター所長)、遠藤陽子様(日本生協連中央地連事務局)、鈴木春美様(JA ぐんま女性組織協議会会長)より、それぞれ祝辞をいただき、引き続いて、2011年活動報告、決算報告並びに監査報告、2012年活動方針及び予算決定の件、役員選出の件も別添の通り承認されました。

県内生協において共同参画の取り組みのために、学習会等を開催し、共同参画の「気づき」や「学び」がより一層進むよう活動をしていくことが確認され、総会は終了しました。

総会後は楽しみのアトラクションタイムへ移りました。今回は前橋の「ピースコーラス」の皆さん。新婦人の小組として発足以来 15 年のグループの方々の登場。女声だけのはずのところへ別グループ・男声がご一緒して下さっての混声となりました。

まさに琴線に触れるハーモニーを聴かせていただきました。

声を発するだけ、体に良くて心によくて、精神安定効果は絶大。心の豊かなることを実感した 一時でした。 編集委員 宮澤孝子 (北毛保健生協)

総会で選出された役員を紹介します







連営委員 下田淳子さん コープぐんま



運営委員 星野小夜子さん 群馬中央医療生協



運営委員 福田千佳さん 群馬県庁生協





総会で退任された運営委員さんから一言いただきました

林子恵さん パルシステム群馬

林かの子さん(会長:県連理事)

女性協で 10 年、多くの方に支えられ何とか 務めることが出来ました。長い間お世話さま

割田久美子さん(運営委員:コープぐ んま)

2年間という短い期間でしたが、多くの事を学習・体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。私は失敗も多くご迷惑をおかけしましたが、皆さま寛大でとても暖かい会でした。これからもますますの発展を期待して



下田るり子さん(運営委員 全労済群馬県本部)

2年間いろいろ学ばせていただきました。見学、交歓会、体験など様々なことを話し合いました。未知のことに触れ世界が拡がったように感じました。男女共同参画の試みが、人々の幸せにつながり、現実を良い方向に変えていくことを見守っていきたいと考えています。

運営委員学習会を開催し共同参画について理解を深めました 男女が共に個性・能力を発揮できる社会にむけて 🔞 🗟

女性協は8月8日(水)に、群馬県生活文化部人権男女共同参画課の池畠ちあき係長を講師に招いて運営委員学習会を開催しました。

男女共同参画とは?聞かれると"男女平等"というイメージが浮かびました。しかし、それ以外の事については特に思いつく事もありませんでしたが、今回の学習会に参加し社会の色々な問

題と関わっているということを知りました。



いくつかお話をしていただいた中で、少子化との関係がとても興味深いものでした。仕事を持っている女性に「出産」か「仕事」の二者択一を迫る社会構造が少子化の主な原因の一つと言われていて、解決するためには性別固定的役割分担を押しつけることなく、女性が社会に積極的に参画できるようにするとともに、男性も子育て等の家庭生活の活動を積極的に行い、仕事と家庭の両立支援をすることが大切ということです。

そして、男女共同参画を進め、「仕事も子育ても」と両立で

きる社会的条件を整えることが、結果として子どもを安心して育てていける条件となり、少子化の歯止めに繋がっていくということでした。

学習会に参加して、男女がともに個性や能力を発揮しながら働き、家庭を築き、生き生きと子 どもを育てられる社会の実現に向けて自分にできることからはじめてみたいと思いました。

編集委員 福田千佳 (群馬県庁生協)

中央地連:男女共同参画セミナーが開催されました ~女性がイキイキ活躍できる職場を目指して~ 8月30日4

8月30日(木)、東京四谷の主婦会館プラザエフにて、内閣府と日本生協連との共催による公開セミナーとして、男女共同参画セミナーが開かれました。このセミナーは報告~講演~パネルディスカッションという流れで構成され、短い時間を有効に使った充実した内容のものでした。 内閣府の報告は、国の第3次男女共同参画基本計画の中に「2020年30%目標」(にいまるにいまるさんまる目標とも言う)というものがあり、これは2020年までに指導的地位にある女性の割合を30%にしようというものです。しかし、日本の女性の労働力、管理職、議員等の割合はどれも世界の国々(135ヶ国)の中では大変低く、男女平等(ジェンダー・ギャップ)指数が101位(2012年)という現状において、女性の就労は目標達成の大きな力になるだろうとのことでした。

講演は、女性が自分のライフステージ(さまざまな生き方)に合わせて活躍できる職場を目指し、人材教育や社内スクールに取り組み、社員が長く働き続けられる環境を作っているという、イオン株式会社役員の佐藤京子さんの話でした。働きやすい職場環境にいる社員が多ければ、お客様にも良い影響が出、高いお客様満足度につながるーー物事を考えるときは「長期的」、「根源的」、「多面的」にせよ!という話に、しっかり目標に向かって進んでいるステキな女性に会えたナと思えるひと時でした。



休憩をはさんでのパネルディスカッションには佐藤京子さんを含め4名のパネリストが登場しました。(写真) それぞれ年代も違えば職種も異なる方々でしたが、大方一致した意見が出されていました。それは子育て中は職場の制度を上手く使いながら、周囲への感謝の気持ちを忘れず、誠意を持って仕事に取り組み、子育てが一段落したら、今度は助ける側になり、「お互い様」の気持ちで生きていくということでした。

「お互い様」と言う気持ちを持ちながら暮らしていくことは

男女共同参画を進めることにもつながる・・・大切なことを改めて感じたセミナーでした。

会長 清野紀美子(コープぐんま)